

## 2016年6月理事会議事録

日 時：2016年6月25日（土）14：00～18：00

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・石川日出志・近藤英夫・大島直行・小笠原永隆・小澤正人・瓦吹 堅  
・久保田正寿・佐々木和博・篠原和夫・杉井 健・関根達人・都築恵美子・橋本  
裕行・堀内秀樹・宮本一夫・長瀬 衛、監事：唐澤至朗・吉田哲夫、（事務局：  
林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：岡内三眞・岡山真知子・菊池誠一・佐々木憲一・佐藤宏之・新納 泉・矢島國雄

進 行：橋本裕行

議 長：谷川章雄

橋本理事から、本日の出席者は19名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

### 会員の訃報について

橋本理事から、兵庫県の橋爪康至会員が2016年4月3日、山梨県の谷口一夫会員が6月10日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

### 議案第345号 新理事会組織と引継ぎ事項について

谷川会長から、今期の理事の役割分担、並びに前理事会からの引継ぎ事業・検討事項等の確認があり、承認した。

### 議案第346号 平成28年熊本地震対策特別委員会について

宮本理事から、第82回総会で設置が承認された平成28年熊本地震対策特別委員会について、「平成28年熊本地震文化財対策準備会」を基に、特別委員会の構成案が提示された。担当理事として、九州選出の宮本理事・杉井理事に加え、東日本大震災対策特別委員会での経験を鑑み、近藤副会長・石川副会長あるいは佐藤理事が委員会に加わる。さらに、関係行政機関との交渉のためにも東京近県の会員を今後加え、11名体制とする予定であるとの説明があり、構成案を承認した。

また、前理事会からの引継ぎ事項として、阪神・淡路大震災や東日本大震災での対応を通して日本考古学協会が蓄積してきた経験等を基に、災害対策体制の整備や「文化財レスキュー学」の教育プログラム提供等の検討がある旨の説明があり、石川副会長・佐藤理事を中心に、将来的には委員会設置等も含めて検討に当たることが説明され、承認した。

### 議案第347号 平成28年熊本地震対策特別委員会設置要綱の修正について

宮本理事から、第82回総会で承認された「平成28年熊本地震対策特別委員会設置要綱」について、①5月臨時理事会において募金活動を実施することが提案・承認されたため、第7条に「予算措置は本協会運営費及び寄付金をもって充てる。」と、「及び寄付金」を追加する。②第82回総会時に指摘を受け、文言の統一を行ったとの説明があり、承認した。

#### **議案第348号 平成28年熊本地震被災会員および被災文化財救済活動への支援のお願い**

長瀬常務理事から、5月臨時理事会において平成28年熊本地震に係る募金活動が承認されたことを受け、8月刊行の会報第188号に掲載する、被災文化財救済活動の支援について寄付金依頼の原稿案が提示された。また、甚大な被害を受けた会員に対しては「日本考古学協会規則」第12条及び「会費免除期間の基準」に基づく会費の免除について、公式サイトと同様の案内を会報に掲載することが説明された。審議の結果、寄付金依頼の原稿案に修正を加えた上で、掲載を承認した。

#### **議案第349号 北海道アイヌ協会・日本人類学会・日本考古学協会共催シンポジウムについて**

関根理事から、5月理事会議案第340号で承認されている、8月6日（土）開催の北海道アイヌ協会・日本人類学会・日本考古学協会共催の国際先住民族の日記念事業のシンポジウムについて詳細なプログラムの提示があり、会報第188号に掲載して、会員への周知を行うことが説明され、会報原稿案を一部修正の上、承認した。

#### **議案第350号 協会図書に係る検討小委員会解散について**

石川副会長から、これまでの経緯が説明され、5月理事会報告第473号にあるように、協会図書に係る検討小委員会としての役割はおおむね終了したため、第82回総会の事業報告をもって解散とし、今後は理事会内に図書担当理事を置くことが前理事会から引継ぎされている。それを受けて新理事会では、近藤副会長が協会図書を担当し課題の解決にあたるとの説明があり、原案通り承認した。続けて、近藤副会長から、協会図書の受入れ先である奈良大学と早急に懇談を行う予定であるとの補足説明があった。

#### **議案第351号 国際交流委員会委員の選考について**

小澤理事から、1名の委員が退任するため、東京都の寺崎秀一郎会員を新委員に推薦したいとの説明があり、原案通り承認した。

#### **議案第352号 広報委員会委員の選考について**

小澤理事から、広報委員会委員については、委員会を開催した上で理事会に改めて諮る旨が説明された。

#### **議案第353号 埋蔵文化財保護対策委員会委員の選考について**

近藤副会長から、①矢島國雄委員と小笠原永隆委員が埋蔵文化財保護対策委員会の担当理事となったことに伴い委員を退任する。②新たに、神奈川県委員1名、京都府委員1名、大阪府委員1名について追加推薦があり、選考を承認した。

#### **議案第354号 後援依頼について**

長瀬常務理事から、九州国立博物館（福岡県立アジア文化交流センター）から「全国高等学校考古学フォーラムin九州国立博物館2016」の後援依頼があるとの説明があり、承認

した。

#### **報告第480号 著作権規定について**

石川副会長から、第82回総会時及び総会后6月理事会までに、2名の会員から意見が寄せられたとの報告があった。運用にあたり会員の理解が不可欠なこと、また理事会構成が新しくなったことから、現在の著作権規定案を基に、文言修正・補筆等の再検討を行い、会報に掲載して会員に提示した上で制定したいとの説明があり、了承した。

#### **報告第481号 国際交流委員会報告**

小澤理事から、6月19日（日）に2016年度第2回委員会を開催し、①今年度の「第10回アジア考古学四学会合同講演会」は「古代アジアの天空」をテーマに、2017年2月25日（土）に早稲田大学に於いて開催する予定である。②英文機関誌編集委員会と5月27日（金）に交流会を行った。③第8回世界考古学会議（以下、WAC-8）の「日本考古学フェア」におけるポスターセッションの掲載内容・リーフレットの作成について検討した。④英文サイトに掲載する英文コンテンツについて、「発掘された日本列島2016」より掲載する遺跡を選択、決定した、との報告があり、了承した。

#### **報告第482号 埋蔵文化財保護対策委員会報告**

近藤副会長から、2016年度5月並びに6月幹事会議事録の提示があり、①幹事会の体制について協議した。②北九州市城野遺跡について、現在の状況の説明があり、対応を協議した。③渋川市金井下新田遺跡では発掘調査で古墳時代の大規模集落が発見されており、周辺遺跡も含め全体の様相を把握することでも現地を訪問する予定である。④鎌倉市円覚寺西側結界遺構の保存の再要望書について6月10日付で回答があり、今後の対応を検討するとともに、引き続き注視していく。⑤埋蔵文化財保護をめぐる状況の10年間のアンケート総括の機関誌『日本考古学』への掲載について、構成・執筆者等を協議したことが説明され、了承した。

#### **報告第483号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告**

佐々木和博理事から、6月18日（土）に委員会を開催し、①委員会体制について、協議した。②第82回総会のポスターセッションの総括を行い、教科書会社への明らかな誤りの指摘について、直接指摘することも視野に、今後の連絡方法を検討した。③今後の委員会活動として、北海道や沖縄の教育内容について調査を行い、副読本等も検討を行う。④2016年度弘前大会のポスターセッションについて協議した、との報告があり、了承した。

#### **報告第484号 機関誌『日本考古学』編集委員会報告**

篠原理事から、5月29日（日）に編集委員会を開催し、①委員の交代に伴い引継ぎを行った。②『日本考古学』第42号以降の投稿状況及び掲載予定内容について協議した。③著作権規定の制定に合わせて投稿規定を整備する予定で検討している、との報告があり、了承した。

#### 報告第485号 英文機関誌編集委員会報告

宮本理事から、5月27日（金）に編集委員会を開催し、①『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）Vol. 4, No. 1については、WAC-8までに刊行する予定であり、編集進捗状況及び刊行までの編集日程について確認した。②JJA Vol. 4, No. 2について、掲載予定内容を協議した。③国内からの投稿に際して、WAC-8において「英語論文の書き方」に関するワークショップを通訳も入れて開催するとの説明があり、了承した。

#### 報告第486号 研究環境検討委員会報告

篠原理事から、5月28日（土）に委員会を開催し、①委員の交代に伴う引継ぎを行い、委員会体制について協議した。②これまでの委員会の取り組みと今後の検討課題について整理を行った。③「大学教育と文化財保護」の分科会を実施した2015年度奈良大会実行委員会と意見交換を行ったとの報告があり、了承した。

#### 報告第487号 文化遺産防災ネットワーク推進会議臨時連絡会について

近藤副会長から、平成28年熊本地震に関して、6月30日（木）に臨時連絡会が開催予定であり、東日本大震災対策特別委員会での経験から近藤副会長と佐藤理事が出席するとの説明があり、了承した。

#### 報告第488号 アイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブル日程について

関根理事から、アイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブルについて、今後の日程及び検討課題についての説明があり、了承した。

#### 報告第489号 高尾山古墳の保存・活用に関する協力について

篠原理事から、高尾山古墳の保存・活用に関する支援として、8月会報に掲載する会員への協力依頼原稿の提示があり、一部訂正の上、了承した。

#### 報告第490号 2015年度大会について

関根理事から、2016年度弘前大会の内容説明があり、理事の出欠が確認された。

#### 報告第491号 WAC-8 関連事業について

宮本理事から、WAC-8において日本考古学協会が関係するオープニングセッション並びに考古学フェアについて、実施概要及び進捗状況の説明があり、了承した。

#### 報告第492号 公式サイトについて

小澤理事から、5月27日（金）から運用を開始した新公式サイトについて、各委員会の担当理事に協力の依頼がなされた。

#### 報告第493号 平成28年熊本地震に関する文化庁との面談について

宮本理事から、6月24日（金）に文化庁と平成28年熊本地震における情報の共有及び対

応等について面談し、近藤副会長・宮本理事・杉井理事が出席したとの説明があり、了承した。なお、平成28年熊本地震対策特別委員会と埋蔵文化財保護対策委員会九州・沖縄連絡会と合同で、現地状況の把握を7月に行う予定である。

以 上